

2026 年 9 月 28 日

出光興産株式会社

ケミカルリサイクル・ジャパン株式会社、
2026 年 10 月 1 日付で
「出光ケミカルリサイクル・ジャパン株式会社」へ社名変更

出光興産株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：酒井則明）と環境エネルギー株式会社（本社：広島県福山市、代表取締役：野田修嗣）との合併会社であるケミカルリサイクル・ジャパン株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長：岡村仁彦）は、2026 年 10 月 1 日付で、社名を「出光ケミカルリサイクル・ジャパン株式会社」に変更します。

1. 社名変更について

	新	旧
社名	出光ケミカルリサイクル・ジャパン株式会社	ケミカルリサイクル・ジャパン株式会社
社名(英語)	Idemitsu Chemical Recycle Japan Co., Ltd.	Chemical Recycle Japan Co., Ltd.
ロゴマーク	 idemitsu 出光ケミカルリサイクル・ジャパン株式会社  idemitsu Idemitsu Chemical Recycle Japan Co., Ltd.	 ケミカルリサイクル・ジャパン株式会社  Chemical Recycle Japan

2. 社名変更の目的・背景

今回の社名変更は、出光グループの一員であることをより明確にし、ブランド価値の向上と事業認知の拡大を図ることを目的としています。新社名のもと、同社は使用済みプラスチックのケミカルリサイクル事業を通じて、循環型経済の実現に向けた取り組みを一層推進していきます。

3. 変更日

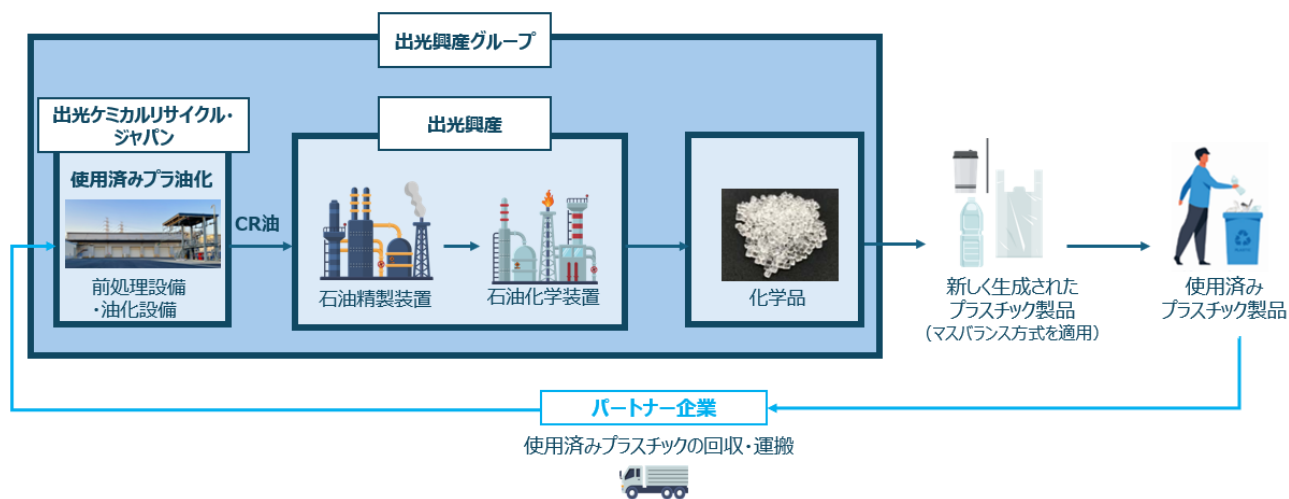
2026 年 10 月 1 日

所在地、代表者、連絡先、現在の事業活動などに変更はございません。

また、お取引先様との契約条件についても従来どおりです。

【参考】ケミカルリサイクル事業の概要

出光グループのケミカルリサイクル事業では、触媒を用いた接触分解システム^{※1}による独自の油化技術を活用し、回収した使用済みプラスチックから軽質原油に相当する CR 油^{※2}を生産します。生産した CR 油は、出光グループの製油所・事業所の石油精製装置および石油化学装置において原料として使用し、マスバランス方式^{※3}を適用した「ケミカルリサイクル化学品」などへ再資源化します。これにより、使用済みプラスチックを製品の原料として循環させ、資源循環の実現を目指します。



本事業のイメージ図

※1 触媒を用いた接触分解システム：触媒を用いてプラスチックを分解する化学反応プロセスのこと。

※2 CR 油：ケミカルリサイクル油。使用済みプラスチックを油化して生産した軽質原油相当の油。

※3 マスバランス方式：原材料から製品への加工・流通工程において、ある特性を持った原料（例：使用済みプラスチック由来の原料）がそうでない原料（例：石油由来の原料）と混合される場合に、その特性を持った原料の投入量に応じて、製品の一部に対してその特性の割り当てを行う手法。

プレスリリース：[出光グループ内で使用済みプラスチック由来の油からナフサまでの一貫製造を実現（2026年9月28日付）](#)

プレスリリース：[油化ケミカルリサイクル設備 2号機の基本設計を開始（2026年6月30日付）](#)

プレスリリース：[使用済みプラスチックの再資源化に貢献する油化ケミカルリサイクル設備の商業運転を開始（2026年4月28日付）](#)

ビジネス映像メディア「PIVOT」(YouTube)：[資源に乏しい日本の知られざる「都市油田」ープラごみを『石油』に変える理由](#)

当社の油化ケミカルリサイクル事業について、執行役員と担当者がゲストと共に語ります。

～ 本件に関するお問い合わせ先 ～

出光興産株式会社 広報部広報課

https://www.idemitsu.com/jp/contact/newsrelease_flow/index.html